

Canon Satera LBP6600

かんたん 設置ガイド

最初にお読みください。
ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

プリンターの設置を安全に行なうための注意事項は、裏面の「安全にお使いいただくために」に記載されています。 **P.6**
設置を始める前によくお読みください。

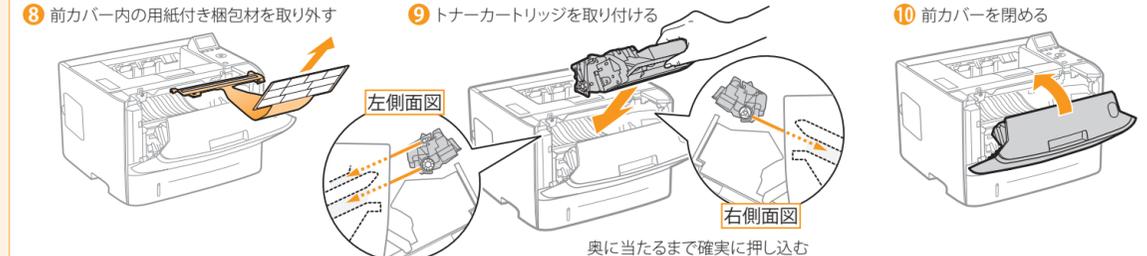
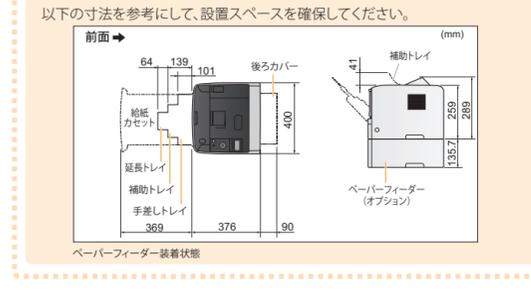
Step 1 設置準備

同梱品がそろっているか確認する

- プリンター
次のものが取り付けられています。
● 給紙カセット
● トナーカートリッジ
 - ポケットガイド
 - かんたん設置ガイド(本書)
 - 保証登録のお願い
 - 電源コード
 - CD-ROM「User Software」
次のものが収められています。
● プリンタードライバー
● NetSpot Device Installer
● FontGallery
● プリンタードライバーインストールガイド
 - 取扱説明書CD-ROM
次のものが収められています。
● e-マニュアル
- LANケーブルやUSBケーブルは付属していません。
USBケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。

設置場所を決める

- 温度/湿度条件**
- 温度範囲: 10~30℃
 - 湿度範囲: 20~80%RH (相対湿度・結露しないこと)
- 電源条件**
- AC100V ± 10%, 15A以上
 - 50/60 Hz ± 2 Hz
- 設置条件**
- 十分なスペースが確保できる場所
 - 風通しがよい場所
 - 平坦で水平な場所
 - 本プリンターの質量に耐えられる十分な強度のある場所



Check!

梱包材はすべて取り外しましたか?

- 梱包材 × 1
- 用紙付き梱包材 × 1
- シーリングテープ × 1

※上記の梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

オレンジ色のテープがすべて取り外されていることを確認する

※確認が終わったら、カバーはすべて閉めてください。

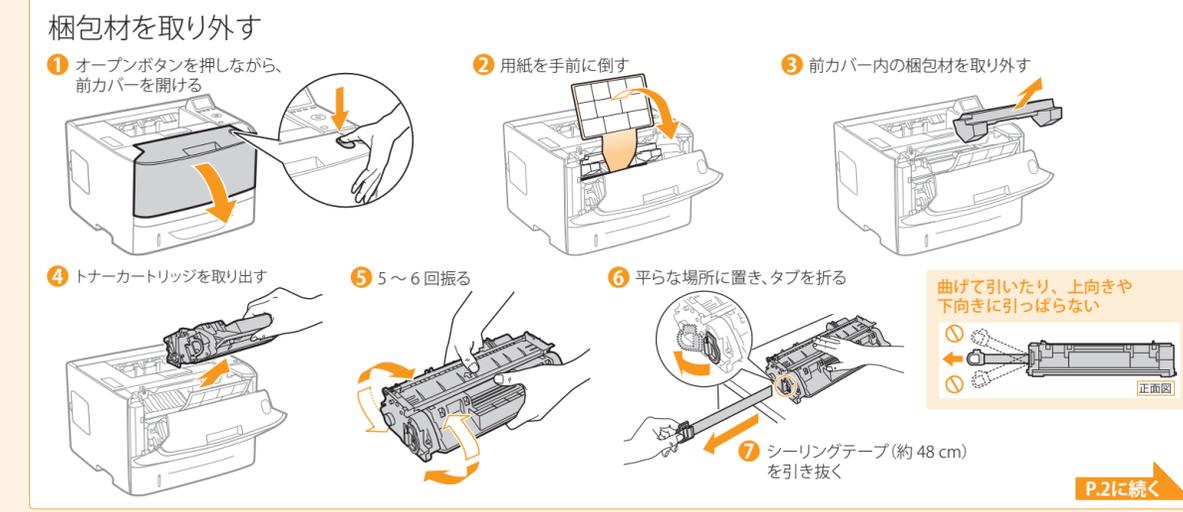
同梱のポケットガイドの裏表紙に、シリアルナンバーと購入日をご記入ください。
お買い求めの販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせの際に必要です。

シリアルナンバーは、上の図で示す位置に表示されています。

ここにシリアルナンバーと購入日をご記入ください。(ポケットガイドの裏表紙)

Step 2 梱包材を取り外して、設置場所に運ぶ

すべてのテープを取り外します。以降の手順を行う際、オレンジ色のテープがプリンターに貼られているときは、すべて取り外してください。梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。



ペーパーフィーダーを取り付けて使用するとき

プリンターを設置場所に運ぶ前にペーパーフィーダーを設置してください。

ペーパーフィーダーを取り付ける P.5

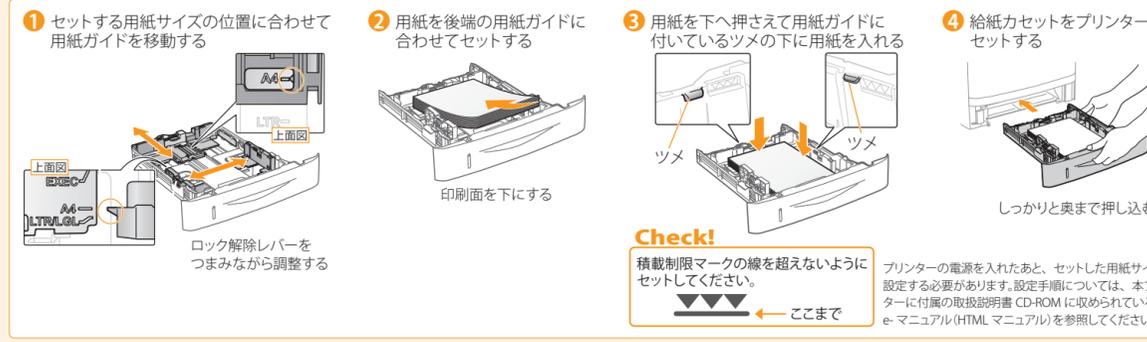
ペーパーフィーダーを取り付けないで使用する時

給紙カセットを引き出してから、プリンターを設置場所に運んでください。

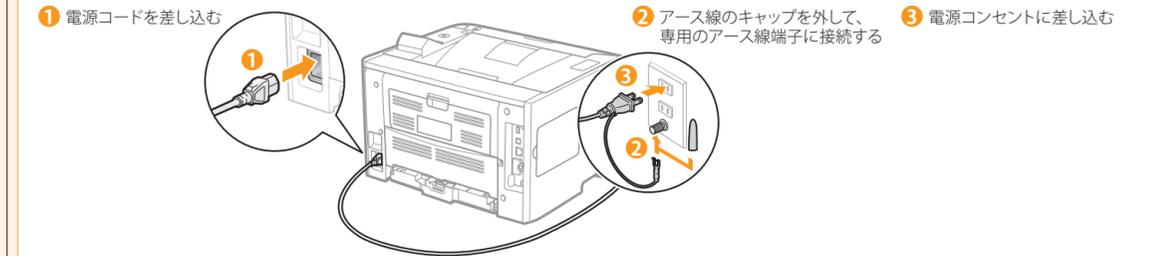
運搬用取っ手にプリンター前面から手を掛けて運んでください。

ここでは、まだ給紙カセットをセットしないでください。

Step 3 給紙カセットに用紙をセットする



Step 4 電源コードとアース線を接続する



Step 5 プリンターの動作を確認する

- 1 電源を入れる
- 2 プリンターのオンラインランプが点灯していることを確認する
点灯していない場合は、[オンライン]キーを押します。
- 3 [ユーティリティ]キーを押す
- 4 [▲]、[▼]で「共通ステータスプリント」を選択して[OK]を押す
- 5 [▼]で「はい」を選択して[OK]を押す
ステータスプリントが印刷されます。

しばらくするとディスプレイに「印刷できます。」と表示され、印刷可能な状態になります。

ON

[ユーティリティ] / [▲]キー
[ジョブ] / [▲]キー
[OK]キー
[リセット] / [▼]キー
[オンライン]キー (オンラインランプ)

Step 6 プリンターとコンピューターを接続する

USB接続の場合

- 1 電源を切る
- 2 四角い側(Bタイプ)をプリンターに接続する
- 3 平たい側(Aタイプ)をコンピューターに接続する

ここではまだプリンターの電源は入れないでください。電源は、プリンタードライバーのインストール中に入れます。

Step 7 P.4へ

LAN接続の場合

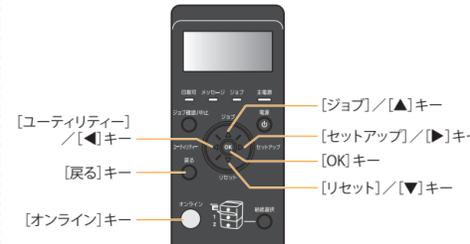
- 1 LANケーブルを接続する
- 2 電源を入れる
- 3 LNKランプが点灯していることを確認する

ON

LNKランプ

続いて、操作パネルでプリンターのIPアドレスの設定を行います。P.4へ

続いて、操作パネルでプリンターのIPアドレスの設定を行います。



ここではIPアドレスを自動(DHCP)で設定する手順で説明しています。

- [セットアップ]キーを押して、[▲]、[▼]で「ネットワーク」を選択し、[OK]を押すメッセージが表示されたら、[OK]を押します。
- [▲]、[▼]で「TCP/IP設定」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「IPv4設定」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「IPモード」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「自動」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「プロトコル」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「DHCPによるアドレス設定」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「オン」を選択し、[OK]を押す
- プリンターの電源を入れなおす
プリンターの再起動後に設定が有効になります。
※本製品が自動的にIPアドレスを設定します。約2分お待ちください。

※[戻る]キーを押すと、ひとつ前の階層へ戻ります。



Step 7 プリンタードライバーをインストールする

LIPS LXプリンタードライバーの特長

印刷データの処理をコンピューターとプリンターで負分散することによって、従来よりも高速で安定した印刷ができるほか、少ないメモリーでの動作が可能です。

USB接続でインストールするときは

USB接続の場合、インストールするプリンタードライバー(「LIPS LX」または「LIPSLX XPS」)の種類と、操作パネルの「ページ記述言語(PnP)」の設定が異なると、プリンタードライバーを使用できません。プリンターの操作パネルで「ページ記述言語(PnP)」の設定を行ってください。

「ページ記述言語(PnP)」の設定方法

- [セットアップ]キーを押して、[▲]、[▼]で「拡張機能」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「ページ記述言語(PnP)」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で使用するプリンタードライバー(「LIPS LX」または「LIPSLX XPS」)を選択し、[OK]を押す
- プリンターの電源を入れなおす
プリンターの再起動後に設定が有効になります。

操作方法で不明な点があるとき

プリンタードライバーのインストール方法の詳細は、本プリンターに付属のUser Software CD-ROMに収められているプリンタードライバーインストールガイドに記載してあります。

プリンターのセットアップが終了しました

ここまでの手順が終了すると、プリンターをお使いいただくことができます。

Option ペーパーフィーダーを取り付ける

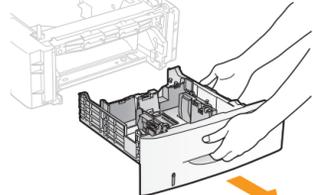
プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置するとき

ペーパーフィーダー

すべてのテープを取り外します。

以降の手順を行う際、オレンジ色のテープがペーパーフィーダーに貼られているときは、すべて取り外してください。
梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

- ペーパーフィーダーを箱から取り出す
- プリンターとペーパーフィーダーの給紙力セットを引き出す

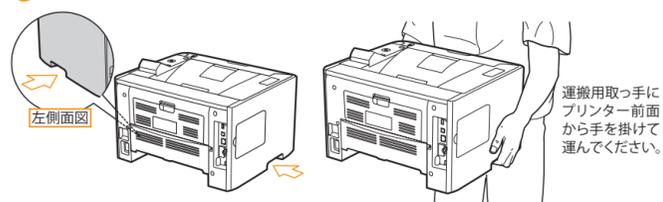


- ペーパーフィーダーを設置場所に置く



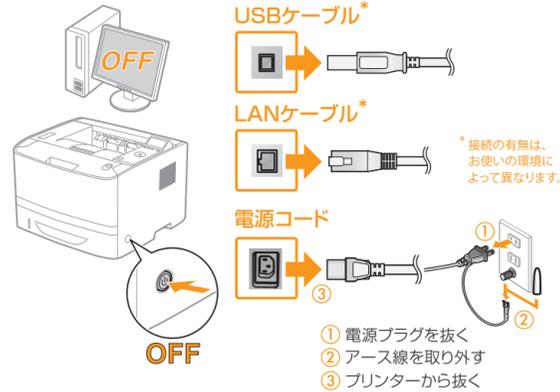
プリンター本体

- プリンターを設置場所に移動する

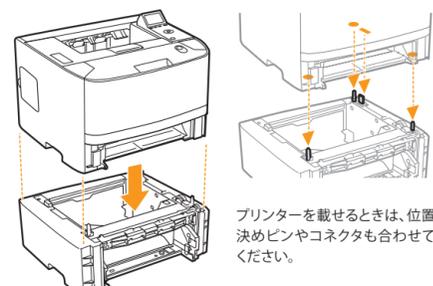


ペーパーフィーダーをあとから設置するとき(プリンターをすでに使用しているとき)

- コンピューターの電源を切る
- プリンターの電源を切り、接続されているケーブルやコードを取り外します



- プリンターをペーパーフィーダーの両側面や前面に合わせてゆっくりと載せる



続いて、次の手順によって作業を進めます

プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置したとき

- 用紙をセットする ➔ P.2
プリンター本体に標準の給紙力セットの手順を参考に、ペーパーフィーダーにも用紙をセットしてください。
- 電源コードとアース線を接続する ➔ P.3
- プリンターの動作を確認する ➔ P.3
- プリンターとコンピューターを接続する ➔ P.3, 4
- プリンタードライバーをインストールする ➔ P.4

ペーパーフィーダーをあとから設置したとき(プリンターをすでに使用しているとき)

- プリンターの給紙力セットをセットする
- 用紙をセットする ➔ P.2
プリンター本体に標準の給紙力セットの手順を参考に、ペーパーフィーダーに用紙をセットしてください。
- ケーブルやコードを接続する
取り外したケーブルやコードを接続しなおしてください。

安全にお使いいただくために

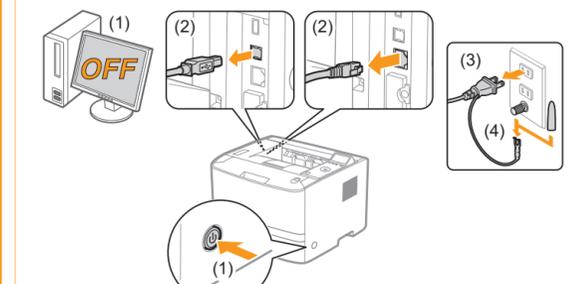
本書では設置と電源の警告や注意のみを記載しております。必ず本プリンターに付属の取扱説明書 CD-ROM に収められている e-マニュアル (HTML マニュアル) で記載されている「安全にお使いいただくために」もあわせてお読みください。



設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。
 - アクセサリなどの金属物
 - コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器
 これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。製品内部に入った場合は、直ちにプリンターとコンピューターの電源をオフにし(1)、インターフェイスクーブルを接続している場合は、インターフェイスクーブルを抜いてください(2)。そのあと、電源プラグを抜いて(3)、アース線を取り外し(4)、お買い求めの販売店にご連絡ください。



- オプション品の取付け/取外しを行うときは、必ずプリンターの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンターに接続されているすべてのインターフェイスクーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインターフェイスクーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。また、ベッドやソファ、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
 - 湿気やホコリの多い場所
 - 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があがる場所
 - 雨や雪が降りかかるような場所
 - 水道の蛇口付近などの水気のある場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 高温になる場所
 - 火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インターフェイスクーブルを接続する場合は、e-マニュアルの指示にしたがって正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- メインボードの取り扱いには注意してください。メインボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、e-マニュアルの指示にしたがって正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。

マークについて

- 警告** 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全にお使いいただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
- 注意** 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 電源コードが引っ張られた状態にしないでください。電源プラグが緩んで接続が不完全になると発熱し、火災の原因になることがあります。
- 電源コードを踏みつけたり、ステイプルなどで固定したり、重いものをのせたりしないでください。コードがいたみ、そのままご使用を続けると、火災や感電などの事故の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 電源コネクタが接続される製品の差込口にストレスが強いかかると、製品の内部で断線や接触不良が発生し、故障の原因になります。また、火災の原因になる場合もあります。以下のような取扱いは避けてください。
 - 電源コネクタを頻繁に抜き差しする
 - 電源コードに足を引っ掛ける
 - 電源コードが電源コネクタ付近で曲げられ、製品の差込口に継続的なストレスがかかっている
 - 電源コネクタに強い衝撃を加える
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。万一漏電した場合は感電の恐れがあります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
 - [アース線を接続してもよいもの]
 - 電源コンセントのアース線端子
 - 接地工事(D種)が行われているアース線端子
 - [アース線を接続してはいけないもの]
 - 水道管... 配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
 - ガス管... ガス爆発や火災の原因になります。
 - 電話線のアースや避雷針... 落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

商標について
本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。